

ごあいさつ

平素より北海信用金庫の業務運営に対し、格別のご支援、ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに事業概況、業務及び財務内容、地域貢献活動、人材育成等についてまとめた「北海しんきんレポート2017」を作成いたしましたので、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、平成28年度の我が国経済は、雇用・所得環境の着実な改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。先行きについても、経済対策やオリンピック関連需要の本格化等により、緩やかな回復基調が続くことが見込まれております。

北海道経済においても、災害復旧工事本格化にともなう公共投資の増加が見込まれるほか、外国人を中心とした観光客数の増加等を背景に、緩やかな持ち直しが続くことが予想されております。

一方、米国経済や新興国経済の動向、英国のEU離脱問題の帰趨、欧州債務問題の展開や地政学リスクの影響等については、注意を要する状況が続いております。

そのような中、平成28年度は「北海信用金庫」として1年を通じて業務を行う最終年度でございましたが、預金残高・貸出金残高ともに前年度対比増加という相応の実績で終えることができました。これもひとえに、地域の皆さまからのご支援、ご愛顧の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

合併を控え、「北海信用金庫」として残された期間は、法令等遵守・リスク管理態勢の強化、営業基盤・収益基盤の強化に努めることは勿論のこと、合併後も地域の皆さまのため、地域金融機関としての責務を果たせるよう、顧客本位の業務運営に徹するとともに、金融仲介機能のさらなる強化に向けた体制を整備してまいります。

合併手続きが予定通りに進めば、平成30年1月に「北海信用金庫」は91年の歴史に幕を下ろし、札幌信用金庫・小樽信用金庫とともに「北海道信用金庫」として新たな「道」を進むこととなりますが、北海信用金庫の全役職員が一丸となって業務に邁進し、堂々と新たな「道」へ進めるよう、業務運営に努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年7月 理事長 **西田 寛**

